

クラウドってなんだろう？

VER 1.00

2014年

株式会社 クリエイティブハウスコーポレーション

目次



クラウドをやさしく解説

- クラウド早わかり
- アグリマネージャーの仕組み
- データセンターと情報の保護
- お問い合わせ

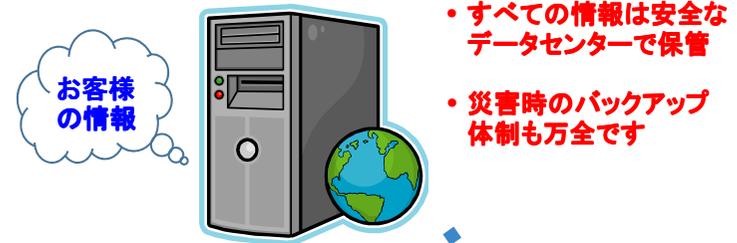
クラウドをやさしく解説

クラウド早わかり



- 「クラウド(雲)」という用語を最近よく耳にしますが、いったいどういう意味でしょう。日本語で“雲をつかむような”といえは、はっきりしないことのとえ。でも“クラウド”の仕組みは違います。
- 従来のソフトウェアは使用する端末ごとにインストール(設定)しますが、クラウド型の場合は**データセンター**という保管場所に、アプリケーションであるソフトウェアがあります。
- **お客様の環境**からいつもデータセンターにある自分の情報を見に行きます。そのため、**インターネット環境**があれば、いつでもどこでも情報を取り扱うことができます。それが“クラウド”の仕組みです

データセンター



- すべての情報は安全なデータセンターで保管
- 災害時のバックアップ体制も万全です

インターネット環境

- インターネットを通じてデータをやりとりするので、パソコンやその他の機器が壊れてもデータは保護されています。

お客様の環境

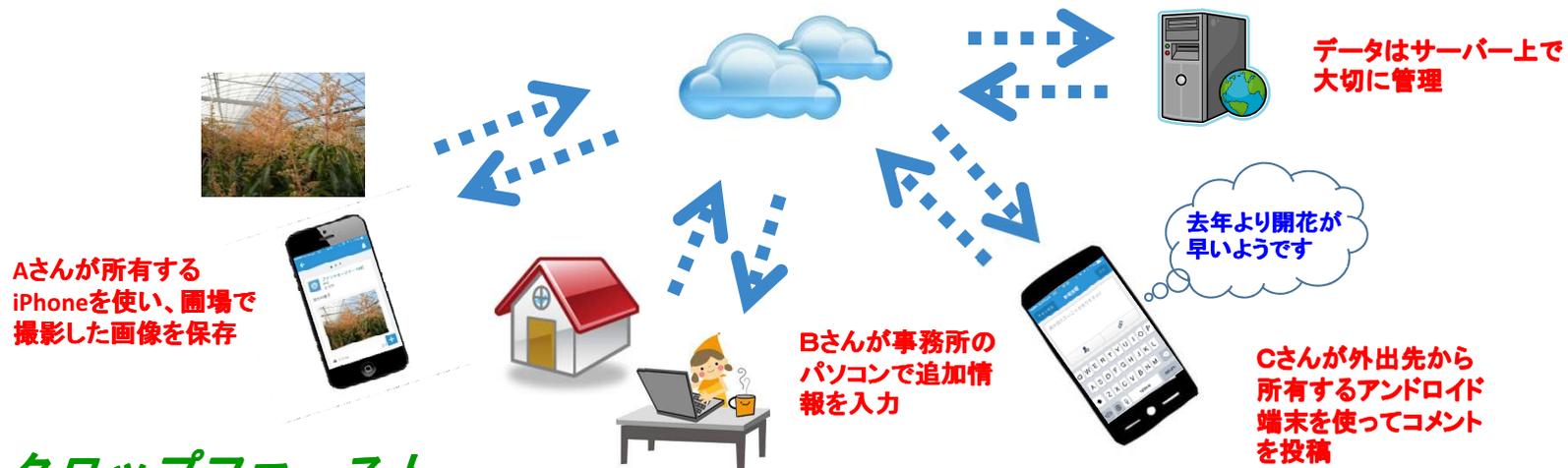


- どの端末からでも最新データが確認できます
- パソコンやスマホ、iPhoneでもAndroid端末でも利用できます
- インターネットにつながっていれば、メンテナンス時間帯を除き、いつでもどこでもデータの入力や確認ができます

アグリマネージャーの仕組み



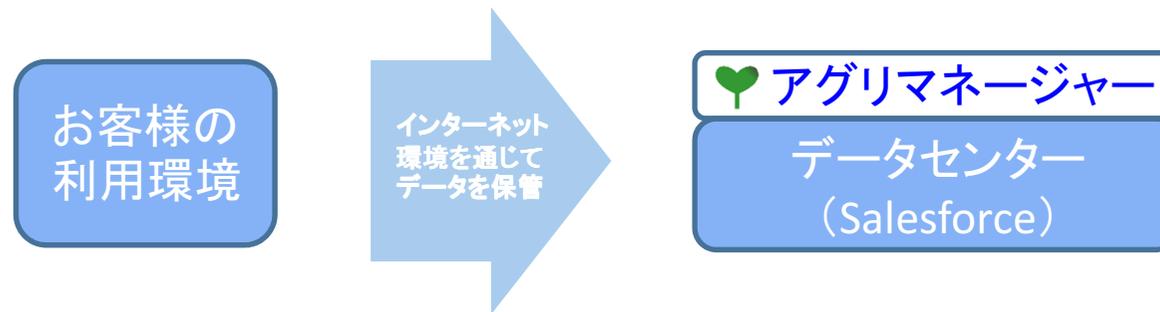
- 農業経営支援アプリ「アグリマネージャー」は、ソフトウェアのインストールが不要なクラウド型のアプリケーションです。
- クラウド型だから、データはサーバー上に保管されていて、いつでもどの端末からでも最新状況を確認することができます。また、パソコンやスマホなどの端末が故障しても、記録したデータに影響を与えません。
- たとえば、Aさんが所有するiPhoneを使い、圃場で撮影しアップロードした画像を、Bさんが事務所のウィンドウズパソコンで確認し追加情報を入力。さらにCさんが、外出先からアンドロイド端末を使ってコメントを投稿する。そのようなことも、アグリマネージャーならとてもカンタンにできます。



データセンターと情報の保護



- お客様の大切な情報は、日本にあるデータセンターで厳重に管理されています。もちろん、その情報はお客様のもの。お客様のプライバシーもしっかり守られています。



- アグリマネージャーは米国セールスフォース・ドットコム社（ニューヨーク証券取引所に上場）のプラットフォーム（土台）を利用しています。
- セールスフォース社が提供するクラウド型のサービスは、トヨタ自動車を始め、日本郵政、日本航空など、世界的な大企業の多くが利用している **安心・安全**な仕組みです。

お問い合わせ



- お問い合わせはこちらへ
 - Eメール am.support@creativehousecorp.com
 - お電話 03-3868-0817
 - FAX 03-3868-0204

- 製品ご紹介ウェブサイト
 - クロップファースト (<http://www.cropfirst.com/>)
 - 「アグリマネージャー」でも検索できます。